

廃炉プロセス 「処理・処分・環境回復（燃料に由来する α 核種が含まれる廃棄物含む）」
検討対象 「キャラクターゼーション②」
課題 「計量管理」

ニーズ

1. 燃料デブリや核燃料物質に対する合理的な計量管理方策を立てたい。

廃棄物合理化のための性状把握：【中期】

望ましい現状とその理由

- 燃料デブリに対して通常の計量管理手法を適用することができないため、過去の類似事故の事例を参考にしながら燃料デブリや廃棄物に適した計量管理手法を整備することが望まれる。
- 燃料デブリや廃棄物の管理の観点で得られたデータを踏まえ、現状の手法や考え方をどのように合理化できるのか検討することが望まれる。

理想と現実のギャップ／解決すべき課題

- 燃料デブリや廃棄物の全量を分析することは現実的でないため、サンプリング結果から全体のインベントリ等を推定するモデルや方策が必要である。

（参考）関連する研究課題

実施されている研究課題

- ・ 特になし

検討されている研究課題

- ・ 特になし

関連する課題

- SFP-301「SF 取り出し」
- デブリ-201「燃料デブリと放射性廃棄物の仕分け」
- 解体-301「炉内構造物の撤去、建屋の解体」
- 処-205「廃棄体確認、分析方法」
- 共-3「測定・分析技術」